



新しい年を迎え、第3学期スタート

今学期もご理解とご支援、よろしくお願いします



謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

皆様には、幸多き新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

本年も昨年同様、入善小学校へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

18日間の冬休みが終わり、学校に明るく元気な声が戻ってきました。久し振りに見る子供たちは、一回り大きくなり、たくましさを感じることができました。

始業式では、新しい年を迎え気持ちのスイッチを入れ直し頑張ろうと意を新たにしている子供たちの表情がうかがえ、とても嬉しく思いました。式辞では、学年のまとめをすることと、一つの学年の様子をよく見て進級するための気持ちの準備をするよう伝えました。

式後の学年代表による「新年の抱負の発表」では、子供たちの今年の目当てを聞くことができました。子供たちの発表は「勉強や6年生を送る会を頑張りたい」だけでなく「ばらばらの九九でもしっかり言えるように」「6年生に喜んでもらえるように」など、具体的なものになっていることに感心しました。子供たちには「じりつ」という話を何度もしています。子供たちの目当ては正に自分で考えて実行に移そうとしているものです。その子供たちの「じりつ」を目指した実践をしっかりと見守り適切な支援を行っていくことに教職員が一丸となって取り組みたいと考えています。今学期もご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

新年の風物詩 書き初め会



始業式の後、低学年(硬筆)は各教室で、中・高学年(毛筆)は時間をずらして体育館で新年の風物詩の書き初め会を行いました。一筆一筆に心を込めて書こうとする子供たちの気持ちが漂った心地よい緊張感を感じることができました。今年も各学年10名程度の入賞者を決め、賞状を渡します。

各学年が書いた今年の課題は右のとおりです。

1年:「つるぎ」 2年:「竹うま」
3年:「思いやり」 4年:「光る立山」
5年:「広い世界」 6年:「心に太陽」

ちょといい話

3学期始業式でも紹介した話です。

始業式の日、交通安全の立ち番をしておられた保護者の方より、「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします」と、素晴らしい新年の挨拶をする低学年の男の子がいてとても気持ちがよかったと聞かせていただきました。新年早々、入善小学校の子供たちのよさに触れることができ、新しい年を清々しい気持ちでスタートできたことを入善小学校の子供たちと一緒に喜びました。

こんな「ちょっといい話」たくさん聞ける年になってもらいたいと願っています。

